

講演会・カンファランス等のご案内

北九州地区小児科医会のご案内

第563回北九州地区小児科医会2月例会

日時：2020年2月20日（木）19:30～20:30
場所：小倉医師会館 4階
演題：「本格化する”子どもの死”の検証制度と医療機関の準備」
演者：北九州市立八幡病院
小児救急・小児総合医療センター 神菌 淳司 先生

第81回北九州小児神経懇話会（第564回合同例会）

日時：2020年3月25日（水）19:00～20:30
場所：アートホテル小倉ニュータガワ
演題：「てんかん発作のない自然終息性焦点性てんかん症候群に伴うてんかん脳症への対応」
演者：産業医科大学エコチル調査サブユニットセンター副センター長・特任教授 下野 昌幸 先生
特別講演：「小児良性てんかんの治療（仮）」
演者：大阪大学大学院連合小児発達学研究所 准教授 下野 九理子 先生

産業医科大学カンファランス・セミナー

産業医科大学小児科セミナー

日時：2020年2月27日（木）18:00～
場所：産業医科大学大学2号館2階 2208教室
演題：新生児慢性肺疾患を再考する
演者：産業医科大学小児科 田中 健太郎先生、清水 大輔先生
市川 俊 先生、荒木 俊介 先生

第10回八幡地区病院小児科合同カンファレンス

※今回は節目の会であり、楠原教授にご講演いただくことになりました。

日時：2020年3月9日（月）19:00～
場所：産業医科大学大学2号館2階 2208教室
演題：不明熱へのアプローチ
演者：産業医科大学小児科教授 楠原 浩一 先生

産業医科大学小児科セミナー

日時：2020年3月5日（木）19:00～
場所：産業医科大学大学2号館2階 2208教室
演題：先天性心疾患と在宅呼吸管理の役割と展望
演者：JCHO九州病院小児科 宗内 淳 先生

その他講演会などのご案内

第428回小倉小児科医会臨床懇話会

日時：2020年2月27日（木）19:00～
場所：国立病院機構小倉医療センター地域医療研修センター
演題1：「当科外来で百日咳の診断に至った小児例」
演者：九州労災病院 小児科 中村 慶司 先生
演題2：「ALL臍帯血移植治療13年経過後に、様々な内分泌異常を呈しているCCSの一例」
演者：九州労災病院 小児科 島本 太郎 先生

令和元年度園児保健研修会

日時：2020年2月17日（月）19:00～
場所：市立商工貿易会館 2階 「多目的ホール」
演題1：「園での食物アレルギー」
演者：小倉きふね病院 アレルギー科 岡部 貴裕 先生

第58回北九州小児血液・腫瘍懇話会

日時：2020年2月28日（金）19:00～
場所：リーガロイヤルホテル小倉 4階 「エメラルド」
一般演題：未定
特別講演：「がん免疫療法の将来像：遺伝子改変T細胞療法の現状と課題」
演者：山口大学大学院医学系研究科 免疫学講座 教授 玉田 耕治 先生

「地域のみんで考えるスペシャルニーズのある子どもたちを守るための災害対策」

日時：2020年2月29日（土曜日）14:00～17:30
参加費：無料
場所：黒崎ひびしんホール 中ホール
参加者：医療関係者（病院、在宅）、当事者家族、行政関係者
講演①「熊本地震の現場から～医療職としてできること」
演者：認定NPO NEXTEP 小児在宅支援部門ステップ総括部長 中本 さおり 様
講演②「災害時小児周産期対策～基幹病院の役割と地域連携～」
演者：聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター センター長 大木 茂 先生

総合討論：

ファシリテーター：
コールメディカルクリニック福岡 院長 岩野 歩 先生
NPO法人にこり 理事長 松丸 実奈 様

パネリスト：

北九州市立八幡病院
福岡県災害時小児周産期リエゾン 神菌 淳司 先生
NPO法人にこり理事、当事者家族 榊田 悠葵 様
北九州市保健福祉局 発達障害担当課長 安藤 卓雄 様

保険診療メモ

初診料の算定について

これまでに保険診療メモで再三取り上げられているテーマですが、相変わらず保険者再審では多くの疑義がありますので、再度確認します。福岡県医師会の保険診療の手引き（第6版）226頁【初診料】もご参照ください。

1. 以前の受診、服薬状況の確認

まず、前回までの受診について、過去の傷病の転帰が「治ゆ」または「中止」と記入されていることを確認して下さい。次に前回までの処方内容を確認します。処方日数や外用薬の投与量から見て、今回の受診日に過去の処方薬が残っていると考えられる場合には継続診療中とみなされます。必ず過去の処方内容は確認してください。

2. 傷病名の確認

次に、以前の傷病が急性疾患か慢性疾患かを確認します。そして、今回の傷病との関連を検討します。

(a).以前の傷病が急性疾患であり今回の傷病と関連しない疾患の場合、治ゆまたは中止後、かつ過去の処方薬が終了していれば、初診料を算定可能です。例えば、急性上気道炎で4月1日に受診し、3日分内服薬を処方した場合は、転帰に治ゆがあれば4月4日以降感染性腸炎などで初診料の算定ができます。

(b).以前の傷病が急性疾患で今回の傷病と同系統の疾患である場合には、治ゆまたは中止後、かつ過去の処方薬が終了した後1週間を経過しないと初診料を算定できません。例えば、急性気管支炎で4月1日に受診し10日分内服薬を処方した場合は、転帰に治ゆがあっても急性気管支炎では4月18日以降でないと初診料は算定できません。

(c).以前の傷病が慢性疾患で今回の傷病が急性疾患の場合は、治ゆまたは中止後、かつ過去の処方薬が終了していれば、初診料を算定可能です。例えば、アレルギー性鼻炎で4月1日に受診し、14日分内服薬を処方した場合は、転帰に治ゆがあれば4月15日以降頭部打撲などで初診料を算定できます。

(d).以前の傷病が慢性疾患で今回の傷病が同一である場合は、治ゆまたは中止後、かつ過去の処方薬が終了した後1か月を経過しないと初診料は算定できません。例えば、アレルギー性鼻炎で4月1日に受診し（最終受診）、28日分内服薬を処方した場合は、転帰に治ゆがあってもアレルギー性鼻炎では5月29日以降でしか初診料を算定できません。内服中は継続診療中であり内服終了時を治ゆ日とみなします。

3. 傷病名別で注意していただきたいこと

継続診療かどうか問題となる傷病名で多いものは、a. 気管支喘息、喘息様気管支炎など、b. 湿疹、皮膚掻痒症、皮脂欠乏症、c. 便秘などがあります。

(a).昭和二十六年の旧厚生省保険局の回答で「喘息、癲癇等の間歇的慢性疾患の診療において、時々発作を起こして短時間の診療によって軽快し、継続して治療を要せず、その間労務及び日常生活等にも支障がない場合は、一発作期間を一疾病として取り扱い、その初診料を算定できる。」を基に短期治療で治ゆとなっているものには初診を認めています。転帰と処方期間および処方内容にご注意ください。ただし、この通知は喘息に対する長期管理法が確立される前に発出されたものであり、現在の治療概念とは異なる側面があることにご留意ください。

(b).湿疹や皮脂欠乏症は、部位記載と塗布回数に記載をお願いいたします。処方量もできるだけ最小単位をお勧めします。急性の皮膚疾患であること、もしくは軽症だったため少量の処方量で治ゆしたことを推測し易くなります。皮膚掻痒症は、抗アレルギー剤投与のための保険病名と思われるレセプトが散見されます。ご注意ください。

(c).小児の便秘症は浣腸で軽快したものや短期の緩下剤の服用であれば急性疾患と考えますが、緩下剤の長期投与や短期投与の繰り返しは慢性疾患とみなされます。最近長期処方ができるようになったモビコール〇Rの適応は慢性便秘症となっており、初診料の算定時には注意が必要です。

4. 青本（診療中止後1か月以上経過した場合の取り扱いと期間計算）について

医科点数表の解釈（平成30年4月版）の53頁に下記の記載があります。

(1) 患者が任意に診療を中止し、1か月以上経過した後、再び同一の保険医療機関において診療を受ける場合には、その診療が同一病名又は同一症状によるものであっても、その際の診療は、初診として取り扱う。（後略）

(2) (1)にかかわらず、慢性疾患等明らかに同一の疾病又は負傷であると推定される場合の診療は、初診として取り扱わない。

(1)の要件を満たしていても、明細書の記載要領は遵守していただく必要がありますので、転帰欄には「中止」をご記入ください。転帰を記載せずに傷病名自体を削除しないようご注意ください。縦覧点検で転帰が未記入のため診療継続中とみなされることがあります。一方慢性疾患では、未受診の期間が長期となった場合にも転帰が明記されない限り初診料は算定できません。

役員会報告（2月6日：木曜日）

会員の異動：

★行橋市：COSMOSクリニック 中山哲郎先生（再入会）

委員会報告

1. 学術委員会報告：

3月は小児神経懇話会との合同例会の予定です。

5月にはこどものころとの合同例会を検討しています。

協議事項・報告事項

吉田雄司先生が会長となって最初の役員会を行いました。

①新役員の役割分担についての原案が吉田先生から示され、次回役員会で再検討することになりました。

今後の例会予定については3月まで決まっています。

学術担当の委員長に今後の例会を決めていただくようになります。

②令和2・3年度予防接種後健康状況調査事業実施医療機関の推薦

今回は役員の開業医役員で分担することとなりそれぞれの担当が決まりました。

③福岡県小児科医会会報誌編集委員の推薦

これまで田中正章先生が長年編集委員をされてきました。

次年度より田中先生に代わり宮川隆之先生が推薦され承諾していただきました。

田中先生、長年にわたり有難うございました。

④第57回北九州地区小児科医会総会は令和3年1月17日にリーガロイヤルホテル小倉で行うことになりました。

その他講演会などのご案内（つづき）

第429回小倉小児科医会臨床懇話会

日時：2020年3月24日（火）19:00～

場所：国立病院機構小倉医療センター地域医療研修センター

演題：「～令和を迎え、災害医療を改めて考える～」

演者：上曽根病院 内科 赤松 稔 先生

北九州市医師会学校医研修会

日時：2020年3月17日（火）19:00～

場所：市立商工貿易会館 2階 「多目的ホール」

演題：「最近のアレルギー医療の動向」

演者：国立病院機構福岡病院 名誉院長 西間 三馨 先生

令和元年度第2回乳幼児健診登録医療機関研修会

日時：2020年3月23日（月）19:00～

場所：市立商工貿易会館 2階 「多目的ホール」

演題：「社会環境に応じた育児の必要性」

演者：産業医科大学エコチル調査サブユニットセンター
副センター長・特任教授 下野 昌幸 先生

令和元年度北九州市医師会予防接種研修会

日時：2020年3月24日（火）19:00～

場所：市立商工貿易会館 2階 「多目的ホール」

演題：「予防接種最新情報2020年～

ロタウイルスワクチンやHPVワクチンを中心に～」

演者：福岡市立心身障がい福祉センター

センター長 宮崎 千明先生